

## 「情報の適切な判断 重要」 熊本の高校でKKT授業

SNSで拡散されたデマ情報を紹介する城戸部長



KKT熊本県民テレビは2日、熊本市の第一学院高熊本キャンパスで、メディアリテラシーについて学ぶ出前授業を行った。KKT

報道部の城戸涼子専門部長が講師を務め、1〜3年の計約20人に取材や報道のノウハウを説明しながら、情報を自ら選び、適切に判断

することが重要だと語った。

授業では、「情報とうまく向き合おう」をテーマに、取材を経てニュースが放送されるまでの映像を視聴した。熊本地震の時にSNSで拡散されたデマ情報を紹介し、「情報の裏どり」「入手を明らかにすること」「不確かなことは不確かであることを伝える」などがポイントだと説明した。

2021年に菊池市の牧場で、大型鳥類のエミューが逃げ出した事例から、取材先や質問を考える記者体験もあった。授業を受けた2年の堀切清巨さんは「テレビニュースができるまでの流れを知り、もっとと見てみたい、記者という仕事は面白そうだと感じた」と話した。